



THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO, SUNRISE

T O S Y ' S

東京サンライズ・ワイズメンズクラブ

設立 1989年2月18日
チャーター認証日 1989年5月 2日
チャーターナイト 1989年5月28日

TOKYO YMCA YAMATE CENTRE
2-18-12, NISHIWASEDA, SHINJUKU-KU, TOKYO
PHONE 03-3202-0321

第一例会：第2木曜日 午後7：00
(但し、12月・4月は山中湖センターで土日)
第二例会：翌々週火曜日 午後6：00

2022年6月号ブリテン 第378号

2021-2022年度主題(Theme)

IBC：台北ユニオン DBC：東広島・京都プリンス

会長 小山 憲彦
副会長 菰 渕 光彦
書記 御園生 好子
会計 柴田 弘子
直前会長 立田 佳明
担当主事 大津 桃子

Our Motto 国際標語
国際会長 Kim Sang-chaе
アジア太平洋会長 大野 勉
東日本区理事 大久保 知宏
あずさ部部長 長谷川 あや子
サンライズ会長 小山 憲彦

To acknowledge the duty that accompanies every right
強い義務感を持つ 義務はすべての権利に伴う
「Y'smen with the world」 (韓国)
「100年を越えて変革しよう」 (神戸ポート)
「私たちは次の世代のために何が出来るか」(宇都宮)
「道を拓く～愛と協力によって」(東京八王子)
「辛抱！じっと我慢」

6月第一例会のお知らせ

とき 6月9日(木曜日) 19:00～
ところ 東京YMCA山手センター
かいひ
とうばん (参組) 御園生、飯野、大谷、菅原、中馬、松本

◆プログラム

開会点鐘	会長
ワイズソング・ワイズの信条	一同
会長挨拶	会長
ゲスト・ビジターの紹介	司会者
協議・報告・連絡事項	会長・各担当
YMCA報告	大津主事
ハッピーバースデー	会長
メンバー近況報告・伝えたいこと	一同
閉会点鐘	会長

6月以降の予告

6月25日(土) 第二(お散歩)例会 椎名町駅 12:00～
◇豊島区立漫画ミュージアム(ときわ荘)他。散歩後の
第二例会はひばりが丘の「旬」17時を予定しています。
7月14日(木) 第一例会 山手センター 18:00～
◇対面例会を予定していますが、場合によってZoomハイブリッドも考慮しています。追って連絡します。
7月16日(土) あずさ部評議会 山手センター 13:00～
7月26日(火) 第二例会 山手センター 18:00～

5月第一例会報告

御園生好子

5月例会は恒例の山中湖センターワークですが、今年は7日(土曜日)に富士五湖クラブの障がい者フライングディスク大会が有るということで、サンライズクラブもボランティアとして参加しました。会場のパインズパークに集合、富士五湖クラブの指揮のもと其々役割分担して協力。

あずさ部部長公式訪問という事と、昨年まではコロナ禍で



規模を縮小して行われましたが、今年はコロナに充分注意しながらも盛大に行われました。

競技終了後は富士五湖クラブの望月勉さん宅で打ち上げ昼食。その後、富士五湖クラブの原俊彦さんが新しく富士吉田で開かれた工房の見学。

17時30分から富士五湖クラブとの合同例会なので解散し、山中湖センターへ。

【次頁へ続く】

6月のハッピーバースデー

29日 泉 文雄 さん

ワイズの信条

自分を愛するように隣人を愛そう
青少年のためにYMCAに尽くそう
世界的視野を持って国際親善を計ろう
義務を果たしてこそ権利が生ずることを悟ろう
会合には出席第一、社会には奉仕第一を旨としよう

5月例会出席者

在籍 (内広義会員 2名)	18名
メン (Make up 1名)	11名
メネット・コメット	0名
ゲスト・ビジター	7名
出席率	69%

●5月のBF切手：0.0kg(累計：0.0kg)

●ニコニコ：0円(累計：5,714円)

●プルタブ：0.0kg(累計：0.0kg)

【富士五湖クラブ、東京サンライズクラブ5月合同例会】

YMCA山中湖センターに於いて

出席者

富士五湖 小池亦彦、後藤明久、後藤昭子、原俊彦、原淑子、望月勉

サンライズ 飯野毅与志、泉文雄、菰渕光彦、立田義明、長津徹、御園生好子

ビジター 渡邊実帆(東京世田谷)

原俊彦富士五湖クラブ会長の開会点鐘で始まり、其々クラブの各種連絡、報告等。

ハッピーバースデー

ニコニコ分間スピーチ

和やかな雰囲気の中、菰渕光彦サンライズクラブ副会長の閉会点鐘。

例会後の晩餐はビュッフェではなく、個別配膳でしたので何か一つ盛り上がらない様な…。コロナ禍では仕方ないのかな？



2022年ワーク・合同例会報告

長津 徹

5月7日土曜日は午前中富士吉田のパインズパークでの障がい者フライングディスク大会に参加するため、例会と懇親会を山中湖センターでする関係でワークは8日の日曜日のみとなりました。久しぶりの富士五湖クラブとの合同例会は世田谷クラブからの飛び入りもあり、総勢13名と賑やかに開催されました。17:30から例会、18:00より会食で皆久しぶりの懇談の場を楽しみました。



5月8日のワークはローボートのすのこにペンキを塗る作業です。お天気が幸いしてペンキの乾きが早く、なんとか時間内にしあげて、早い時間に東京へ戻ってきました。

なお野外チャペルは拡張工事中でした。

なお野外チャペルは拡張工事中でした。

大会が終わった後は富士五湖クラブの人たちと昼食を食べて交流を持った後、原俊彦さんの工房を見学した後、夜は山中湖センターで合同例会をして、次の日は午前中山中湖センターのワーク。ボートのすのこのペンキ塗りをした後、お昼過ぎに終わりました。

障がい者フライングディスク競技大会は何回参加しても、障がい者と障がい者でない人といろいろな年代の方々とも交流ができて、良い交わりでした。来年も参加したいと思い、今から楽しみにしています。

コロナがもう少し落ち着いたら、フライングディスク競技会だけでなく、障がい者と障がい者でない方々とワイズメンズクラブを通していろいろな形で、いろいろな年代の方々とお交わる時があったら良いと思っています。

最後に富士五湖クラブと主催者と、サンライズクラブの方々の活躍と健康を祈り、感想文を終わりにします。

第三回あずさ部善光寺御開帳評議会

柴田弘子

5月14日(土)13時より長野駅に隣接したメトロポリタンホテルにて、長野クラブのホストで開催されました。

コロナ禍で感染予防のためマスクをして、久しぶりの対面での評議会でした。開会式は長谷川部長の開会点鐘、ワイズソングを静かに唱え、松本クラブの大和田副会長の聖書朗読とお祈り、森本会長の歓迎挨拶がありました。

評議会は出席確認後、長谷川部長の成立宣言、部長挨拶後、議案審議に入り、第一号から第三号まですべて承認されました。

報告事項では部長活動報告、事業活動報告、クラブ会長活動報告、部エクステンション委員会報告がありました。長谷川部長の閉会点鐘で評議会は終了しました。

2022年ワーク・合同例会報告

飯野毅与志

5月7日土曜日、富士五湖クラブ主催の障がい者フライングディスク大会(富士吉田パインズパーク)に参加しました。

朝方まで天気が良くなかったのですが、始まる頃はすっきり天気も良くなり、とても良い楽しい大会でした。私は以前から大体参加していますが、春の大会としてとても毎年楽しみにしている大会です。

長くて退屈な日々

小山憲彦

1月5日、診療開始を待ちかねて某医大付属病院へ向かった。年末から足がむくんで痛みが取れなかったからだ。12月初めに処置してもらい症状が安定していたのだが、年末になってうずきだしたが病院は閉まっていた。電話が通じずぐ来いと。診察してもらったら泊まって行けと。PCR検査で鼻に綿棒を入れられとんでもない痛みを覚えた。痛みをこぼしたところ看護婦さんがポツリと「初体験の痛みね...。」と言うようなことをつぶやいた。慰めてくれているのかと思いき流した。肺のCTスキャン、レントゲン、心電図、血液検査などの入院検査を済ませ病室へ。ベッドに横たわりボーっとしていたらあの「初体験」は看護婦さんの実感だったのではないかと思われてきた。

まさか入院などとは思ってもいなかったのではの準備もしておらず、最初に困ったのがパンツと携帯の充電器。その昔体験入院した時は、自由に売店に行ったり、喫煙室で他の患者と談笑したりできたのだが、今回はコロナの関係で病棟にカン詰。談話室の自動販売機以外に買い物はできず、談話室でもマスク着用で会話は原則NG。必要なものはヘルパーさんに頼んでコンビニで買ってきてもらった。

手術は無事に終わり、全身麻酔が切れた時のいやな気分以外に、痛みも感じず、退屈な入院生活が始まった。傷口が閉じるまで、ただひたすらベッドの上で時間の過ぎて行くのを待つ毎日だった。

この大学病院ではリハビリをしていないので、三週間後に執刀医が出張している病院へ転院。ここでもまたPCRの洗礼を受け入院。一週間で抜糸。後は一日一回30分ほどのリハビリをする以外何もやることのない、とんでもなく退屈な生活が始まった。病室は4人部屋。他の3人は寝たきりで、私の枕元の患者はボケていて、昼夜構わず家にいると思ひ込み大声で家人を呼んだり、突然演説を始めたり歌を歌いだしたり。3日目に我慢が切れて看護婦さんにつぶやいたら、その日のうちに彼は部屋を替わって行った。困ったのは3人共ほとんど寝たきりでオシメをしていて、日中2~3度の交換を室内でやること。匂いが室内に漂う。9時の消灯後は、11時と早朝4時にオシメ交換。看護婦さんとヘルパーさんが大きな声でしゃべりながら行るので目が覚めてしまう。もう一つ困ったのが古いエアコンの音。最初は千住のヤッチャ場が開くのを待っている大型トラックのアイドリングの音かと思っていた。

食事は物珍しかった。毎食のようにフリカケがついて、生まれて初めてお目に掛かったものも多々あった。特に厨房が好んだものは、茄子、レンコン、南瓜、大根。極端な薄味で油っ気も限りなく無い。肉っ気は少なく、御飯だけはたっぷり盛られていた。パンは週に一回、ビニール袋に入った薄切りが二枚。一応加熱されていてあったかいだけが取り柄。固いマーガリンがついていた。二週に一度うどんが出た。何故食べなくなったかの記憶はないのだが、60年以上うどんは食べていなかった。食べないと低血糖になるので一生懸命飲み込んだ。

3月下旬、主治医に頼み込んで退屈な入院生活にピリオドを打った。



写真撮影後、長野クラブ森本会長の主催する女性メンバーによるハンドベルに迎えられ、懇親会の場に席を移しました。心のこもったお食事を黙食しながら、長野クラブ堀内さんのフルート演奏、福島善光寺住職の御開帳のここだけの話、落語、をお聞きし、森本会長の感謝の言葉で16時終了しました。コロナ禍で長野クラブの皆様のご苦労とお気遣いが伝わる評議会でした。

出席者：小山会長・小山(久)・菰淵、御園生・柴田

5月第二例会

菰淵光彦

5月第二例会は24日(火) 17:10から19:00まで、山手YMCA205号室においてライブ形式で行われました。当日参加できない方の為にZoomをハイブリッド接続しました。

小山憲彦会長による開会点鐘と挨拶につづいてワイズソングを心の内で歌い、ワイズの信条を胸の内で唱えました。その後、参加者確認を各自ひと言ずつ述べたあと、以下の4月5月の報告があり、議事として6月4~5日の東日本区大会へのZoom参加に関して、今期最後の6月第一例会はライブ例会にする件、6月21日(又は25日)にお散歩例会と会長お疲れさん会の検討、次期キャビネット確認(菰淵会長、長津副会長、御園生書記、柴田会計、大谷ドライバー他)。

山手学舎への支援として、2月の鍋例会に拘らず秋口に懇親を持つ事を確認した。プリテンの担当を割り振り、5月第二例会菰淵、山中ワーク長津、長野評議会柴田、フライングディスク飯野、5月第一例会御園生を決めた。

その後、ニコニコ1人3分以上語って、小山会長による閉会の挨拶のあと閉会点鐘を以って第二例会は終了。

出席者：小山会長、飯野、江原、大谷、小山(久)、菰淵、立田、長津、御園生

YMCA News

山手センター 大津桃子さん

1. withコロナ

～少しずつ対面プログラムを増やしています～
2022年度より学校を中心に全面的に対面授業を再開しました。まだまだ、気を抜くことは出来ない状況ですが、学生や生徒が賑やかに通学しており、館内に人が集う機会が増えてきました。野外活動も、少しずつ、時間をのばし、昼食を伴うプログラムに戻りつつあります。対面でのリーダー会も始まりました。このまま、withコロナ、afterコロナで少しでも、会館に人が集う時が増えることを願っています。

2. 山手70周年行事

～今年、山手センターは、70周年を迎えます～
★11月3日(木)祝祭日：やまてのまつり
コロナ禍で中止されていましたが実施の予定です。コロナ前と同じスタイルで行えること、行えないことがあります。委員会を設け、計画を立てていきます。素敵なアイデア大募集中です。

★11月27日(日)山手リーダースOBOG大集合(仮)

リーダーOBOG有志によって、リーダーOBOGの集まるイベントを計画中です(委員長 浅羽俊一郎氏)。20代～70代を中心に集まれる会を企画しております。詳細が決まり次第、お知らせしていきます。

3. ウクライナ募金、ご協力ありがとうございます

～8,031,482円の募金が東京YMCAに寄せられています(5月16日現在)～
集まった募金は、ウクライナYMCAと近隣諸国のYMCAが連携して行っている避難民への人道支援に加え、日本に避難するウクライナの人々の生活支援のために用いています。すでに日本YMCA同盟が中心になり、日本に避難を希望する約100名の避難民を受け入れ、来日後の生活、教育、就労などトータルな支援を行っています。

引き続き、ご支援よろしくお願いたします。

4. 5月21日(土)「第19回東京YMCA会員大会」を開催

会場である山手センターとオンラインでのハイブリッド形式で開催され、合わせて73名の出席がありました。上田晶平会員部運営委員長の挨拶で始まり、2022年度の会員部運営委員として25名が推挙されました。また、libyの活動拠点を7年にわたり提供された岸野憲氏・眞理氏に「Volunteer of the year」の感謝状が贈られ、4名のユースリーダーが「Youth Volunteer of the year」として表彰を受けました。「これからの東京YMCAをともに考える」のテーマのもと、総主事他3名の職員から発題があり、質疑応答の後に8つのグループに分かれて分団協議を行いました。

ご参加いただきました、皆さまありがとうございます。

5. 感謝

故青鹿博明氏(3月23日召天)より、遺贈として、フレンドシップファンドのために500万円のご寄付をいただきました。

2022年6月1日発行

東日本区理事 大久保知宏

メンバーの皆さまには、会長よりメール添付で配信します。

山中湖センターだより

今月は休載します

第25回東日本区大会 in 宇都宮

キャビネット

残念ながら今年の東日本区大会はZoomのみでの開催となりました。自由参加ですので下記より入室してご参加ください。
<https://us06web.zoom.us/j/87350795778pwd=TORDbDM5amxWV1N2OEE4NIZPeVdwdz09>

期日：2022年6月4日(土)13:00～17:00

6月5日(日)09:45～12:00

あずさ部第一回評議会 in 山手センター

キャビネット

ワイズ新年度のあずさ部第一回評議会が7月16日(土)13時より、東京YMCA山手センターで対面で開催される予定です。いまだ予断は許しませんが期待は持ちましょう。

— 記 —

期日：2022年7月16日(土)13:00～16:00

会場：東京YMCA山手コミュニティーセンター

登録費：2,000円

受付：12:30～

評議会：13:00～14:30

懇親会：14:30～16:00

あずさ部では伝統的に議決権者(会長・副会長・書記・会計)以外のクラブメンバーの参加を積極的に勧めています。部の運営が気になる方、他クラブのメンバーとの交流を望まれる方、どんな理由でもかまいませんので、興味のある方はぜひご参加ください。楽しくなければワイズじゃない、交流無くしてワイズじゃない。皆さまのご参加を歓迎します。

編集後記

皆さまには大変ご迷惑をおかけしましたが、やっと社会復帰を果たし、ブリテンを発行することができました。感謝!

6月上旬のある一週間、何度か電車に乗る機会がありました。その内、3度ほど席を譲られる経験をしました。皆さんはどんな方が譲ってくれたと思いますか。私自身もビックリしたのですが、何とお三方共に40～50代とお見受けした女性でした。私の一番予想の対極におられた方々でした。その後何度か電車に乗りましたが、時間帯で混んでいたせいもあり、二度と声はかかりませんでした。たとえ優先席の前であっても。みんなスマホに夢中になっていて気付かないか、寝たふりをしています。東京ってそんな街なのです。(Non.O)